

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・利用が低調で、かつ老朽化した施設を撤去し、より開放的で地域のニーズに即した遊具や健康遊具等を設置することで、整備前と比較して多くの市民の公園利用を促進した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①： 再整備を実施した公園における公園の利用者増加率	最終目標値	10%	目標値と実績値に差が出た要因	・目標を達成した
		最終実績値	239%		
	指標②	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・鈴蘭公園において、子育て支援や健康づくりといった地域ニーズに応じた空間を創出したことで、全世代での公園利用頻度に増加が見られた。 ・同公園においては新型コロナの状況下で、近隣住民にとっての憩いや健康維持の場として新たな役割を果たしている。 			

3. 特記事項 (今後の方針等)

・引き続き、社会情勢の変化に伴う地域ニーズを的確にとらえ、より一層地域の住民が利用しやすい公園整備を促進するため、H29～H31の計画期間終了後もKOBEパークリノベーションに基づき、他の拠点公園についても整備計画を策定し、継続的に事業に取り組んでいく。

社会資本総合整備計画

神戸市建設事業外部評価委員会 第二回委員会

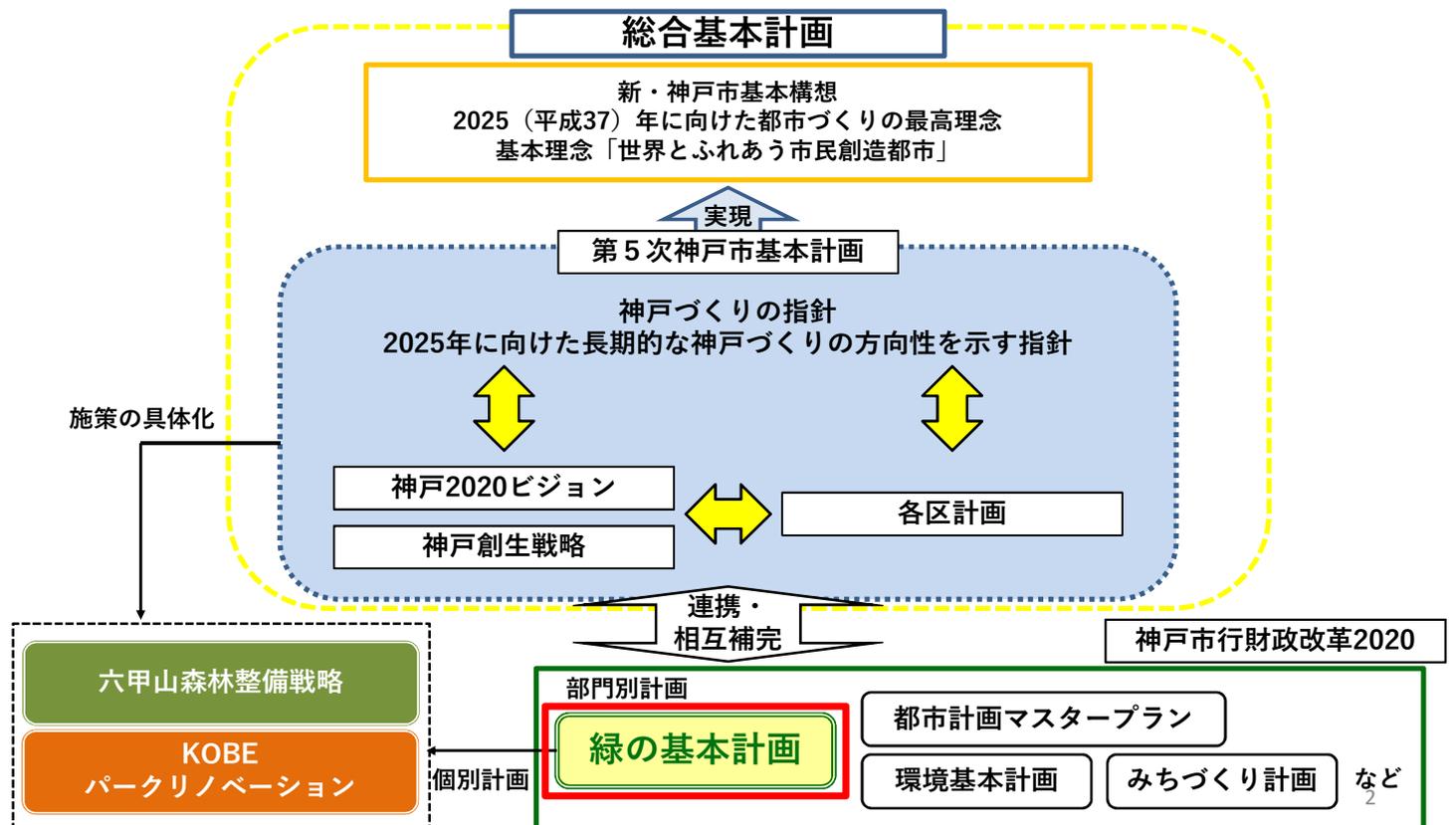
地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

担当：建設局公園部計画課

1

はじめに

緑の基本計画について



はじめに

緑の基本計画について

緑の基本計画の構成



緑の基本計画の基本理念

○地域ごとの緑の特徴から神戸市を3つにゾーニングし、各ゾーンの特徴を生かした施策を展開

○3つのゾーンを有機的につなげることで、豊かな水と緑に包みこまれたまちをめざす。

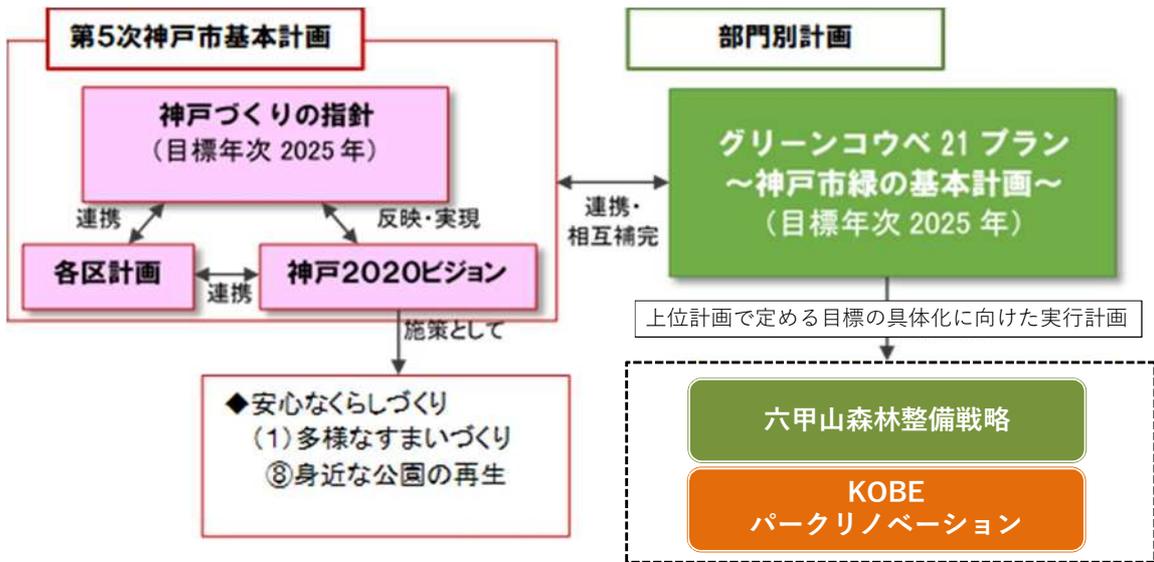


みどり・まち・田園のゾーンを有機的につなぐ「水と緑のネットワーク」のイメージ



はじめに

緑の基本計画について



六甲山森林整備戦略

⇒ 森林整備の実施に向けた基本的な考え方

- ① 戦略的ゾーニングによる森林整備の推進
- ② 多様な主体との協働による森林の育成・活用

など

KOBEパークリノベーション

⇒ 施策を力強く推進するモデル事業

- ① にぎわいのある公園づくり
- ② ストックを活用した公園づくり
- ③ 市民が主役の公園づくり

など

施策の展開と具体的な取り組み

※ 内は本整備計画に対応する取組方針

みどりのゾーン

六甲山系や帝釈・丹生山系などの緑を保全・育成・活用し、市民のくらしや自然環境・美しい景観を守ります。

- 取り組み(1) 森林レクリエーション施設の充実
- 取り組み(2) みどりの聖域づくり
- 取り組み(3) 自然災害から人とまちを守る森づくり 等

まちのゾーン

魅力と活気あるまちづくりを進めるとともに、震災の教訓を活かした安全で快適なまちづくりを目指します。

- 取り組み(1) 時代のニーズに対応した公園施設等のリニューアルと適切な保全
- 取り組み(2) シンボルとなる公園の魅力向上
- 取り組み(3) 公園等の安全性の向上とバリアフリー化 等

田園のゾーン

農地・里山等における生物多様性に配慮した自然環境の保全・育成や、農村地域のコミュニティの活性化を図ります。

- 取り組み(1) 生物多様性シンボル拠点整備の推進
- 取り組み(2) 田園地域のコミュニティ拠点の整備促進 等

対応する整備計画

社会資本整備総合交付金

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 国家的関連事業の開催に対応した都市公園の整備 |
| 2 | 地域ニーズに即した都市公園ストックの再編 |
| 3 | 安全・安心や環境に配慮した公園整備等の推進 |

防災安全交付金

- | | |
|---|-----------------------------|
| 4 | 安全・安心で快適な公園づくり（防災・安全）Ⅱ |
| 5 | 長寿命化計画に基づく公園施設の改築・更新（防災・安全） |
| 6 | 防災・安全に資する公園整備の推進 |

5

1. 整備計画の内容

地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

○計画の名称

社会資本総合整備計画

「地域ニーズに即した都市公園ストックの再編」

○計画の期間

平成29年度～平成31年度（3年間）

○交付対象

神戸市

1. 整備計画の内容

地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

○計画の目標

地域ニーズをくみ上げ、機能再編を主とした再整備により、都市公園ストックのより一層の活用を目指す。それにより、にぎわいの創出や公園利用者の増加、多様化につなげる。

○計画の成果目標（定量的指標）

- ・再整備前後の利用者数を調査し、利用者の増加率10%
=当初比1.1倍の公園利用者数を目標とする。

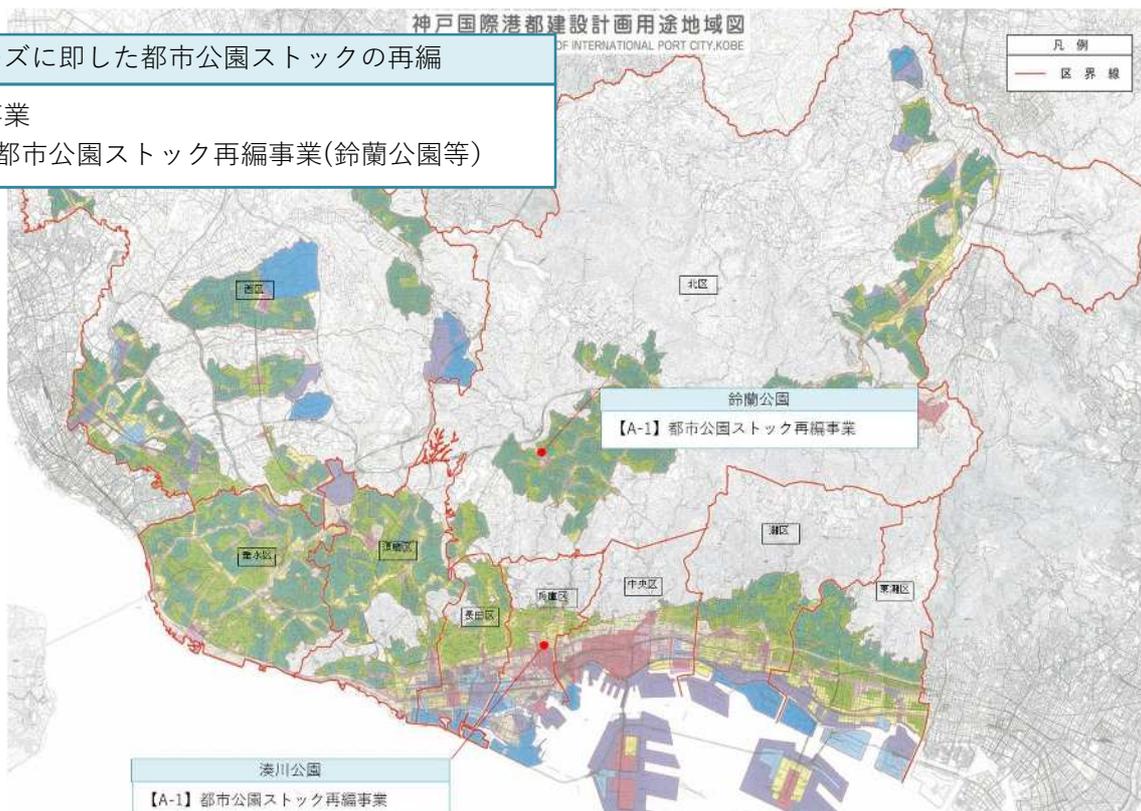
7

2. 交付対象事業

地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

A 基幹事業

A-1 都市公園ストック再編事業(鈴蘭公園等)



8

2. 交付対象事業

KOBEパークリノベーションにおける
身近な公園の再生のモデル事業
「にぎわいのある公園づくり」

神戸市の身近な公園の再生にあたり、特に市民への情報発信の効果が高い事業をモデル事業として先行的に行う。

駅前など人の集まる公園や地域のイベント利用があるなど、まちづくりの核となる公園を拠点公園と位置付け。

拠点公園について、先導的事例として再生に取り組み、子どもや子育て世代など幅広い年代でにぎわう公園とする。

まちのにぎわいを創出する拠点公園の候補

公園名	行政区	公園名	行政区
川井公園	東灘	苔谷公園	垂水
住吉公園	東灘	本多聞公園	垂水
都賀川公園	灘	多聞台中央公園	垂水
六甲道南公園	灘	西神中央公園	西
東遊園地	中央	井吹台中公園	西
北野町中公園	中央	鈴蘭公園	北
荒田公園	兵庫	蒲池公園	北
湊川公園	兵庫	上津公園	北
御崎公園	兵庫		
若松公園	長田		
西代公園	長田		
下中島公園	須磨		
東須磨公園	須磨		
落合中央公園	須磨		
椿谷公園	須磨		

※各区2公園程度

↓
拠点公園候補から
先行して再整備

9

3. 各事業の概要

地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

【A-1】都市公園ストック再編事業(鈴蘭公園等)

事業者：神戸市

内容：鈴蘭公園等における機能再編を主とした再整備等

事業実施期間：平成29年度～平成31年度

全体事業費：280百万円

事業実施個所：鈴蘭公園、湊川公園

鈴蘭公園

事業実施期間：H29～H31

整備内容：大型遊具、健康遊具広場再整備等

湊川公園

事業実施期間：H30～H31（事業全体はH30～R3※）

整備内容：屋根付き遊具広場（ふわふわドーム）等の整備

※庁舎建て替えと調整しながら整備する必要があるため、次期整備計画を跨いで実施

10

3. 各事業の概要

地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

都市公園ストック再編事業とは

○事業概要

立地適正化計画に基づき行われる、子育て支援や高齢社会対応としての整備や、配置の適正化など、地方公共団体における都市公園ストック機能の配置の再編や、再編計画の策定等のソフト面の取り組みを支援する。

○事業の要件

下記の計画を策定している都市における都市公園の機能や配置の再編を対象とする。

- ①立地適正化計画
- ②緑の基本計画（ただし、子育て支援、高齢社会対応等の課題に対応した都市公園の機能や配置の再編に関する方針が位置付けられている計画に限る。）



KOBEパークリノベーション

11

3. 各事業の概要

地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

- 公園：鈴蘭公園
- 整備箇所：神戸市北区
- 計画期間：H29～H31
- 整備内容：大型遊具・健康遊具広場等再整備他
- 対象面積：約0.7ha
- 整備状況：利用が低調でかつ老朽化した施設を撤去し、地域ニーズに即した遊具や健康器具等を設置することで、幅広い世代で賑わう公園に再生した。



12

4. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

- ・利用が低調で、かつ老朽化した施設を撤去し、より開放的で地域のニーズに即した遊具や健康遊具等を設置することで、整備前と比較して多くの市民の公園利用を促進した。



整備前（鈴蘭公園：都市緑化植物園）



整備後（鈴蘭公園：大型遊具広場）

13

4. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

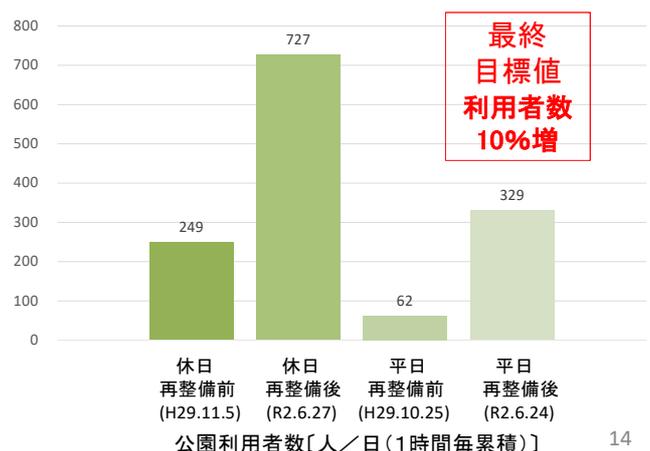
地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

II 定量的指標の達成状況

- ・再整備が完了した鈴蘭公園において、R2年度に利用者数調査を行ったところ、H29年比で、平日5.3倍(267人増)、休日2.9倍(329人増)となり再整備により大幅に利用者が増加した。

【利用者数の調査方法】 ※再整備前後共通

調査日 : 平日、休日 各1日ずつ
※雨天は避ける
時間帯 : 9時～17時
調査方法 : 調査員1名が1時間ごとに園内を巡回し、利用者を目視し、利用状況と人数を記録



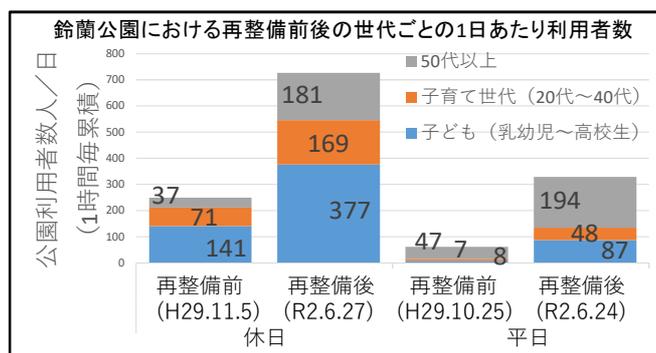
14

4. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況

- ・ 鈴蘭公園において、子育て支援や健康づくりといった地域ニーズに応じた空間を創出したことで、全世代での公園利用頻度に増加が見られた。
- ・ 同公園においては新型コロナの状況下で、近隣住民にとっての憩いや健康維持の場として新たな役割を果たしている。



15

5. 特記事項（今後の方針等）

地域ニーズに即した都市公園ストックの再編

- ・ 現在、都市公園ストック再編事業において4公園※の整備を計画しており、今回の計画期間内に鈴蘭公園の再整備を完了し、幅広い世代の公園利用を促進することができた。
- ・ 引き続き、社会情勢の変化に伴う地域ニーズを的確にとらえ、より一層地域の住民が利用しやすい公園整備を促進するため、鈴蘭公園以外の拠点公園についても整備計画を策定し、継続して事業に取り組んでいく。



※KOBEパークリノベーションにおいて、まちのにぎわいを創出する拠点公園候補として位置づけている 鈴蘭公園、湊川公園、西神中央公園、落合中央公園 の4公園

16